

# HOKUSEI@COM



- 04  
コロナ禍で変わったもの。変わっていくもの。  
イノベーションとホスピタリティが観光の未来を拓く  
短期大学部 英文学科 教授 森越 京子 先生  
「変化する覚悟」と「人材力」が企業を救う  
経済学部 経営情報学科 准教授 黄 雅雯 先生
- 05
- 06  
[先生たちのその素顔]  
社会福祉学部 福祉心理学科 教授 牧田 浩一 先生  
子どもの心の痛みを受け止め、信頼関係を築いていく
- 07  
[学生広報委員 企画ページ]  
フェアトレードとは…?  
フェアトレードQ&A
- 08  
[HOKUSEI INFORMATION 北星学園大学からのお知らせ]  
コロナに負けるな!オンライン国際交流の輪  
[まちがいさがしクイズ]  
北星学園大学オリジナルグッズが当たる!



02-03

コロナ時代の大学教育を追求する  
北星学園大学の新しい学びのかたち

北星学園大学・北星学園大学短期大学部  
学長 大坊 郁夫

# コロナ時代の大学教育を追求する 北星学園大学の新しい学びのかたち

北星学園大学・北星学園大学短期大学部

学長 大坊 郁夫



## ■道内大学としていち早くオンライン授業体制を確立

新型コロナウイルス感染症が北海道で急速に拡大した昨年2月以降、本学では全学危機管理委員会が中心となって対応策を話し合ってきました。卒業式も入学式も中止となり、新年度の対面授業が難しくなったことを受け、4月には教員と事務職員とで「遠隔授業サポート特別チーム」を編成。長時間のリモート会議を何度も重ねて、教員と学生それぞれに向けたオンライン授業のガイドラインを作り上げました。

オンライン授業は前例のない取り組みですから、試行錯誤の連続でした。教員に対しては授業方式や機材およびシステムの使い方などに関するセミナーを複数回実施。さらに専任教員だけでなく非常勤講師にも遠隔授業に必要なシステムのIDを発行し、全科目でオンライン授業を実施できる体制を整えました。他大学でも教鞭を執っている非常勤講師の方々からは「ここまでサポートしてくれる大学は他にはない。とてもありがたい」との声もいただいています。

## ■「新しい授業形式」に挑む教員陣の工夫と努力

今まで対面で行っていた授業をオンライン化することは、教員にとって決して容易ではありません。自粛期間中は自宅でオンライン授業を行ってもらいましたが、学内の研究室とは異なる環境で授業を行うためにコストをかけて環境を整備したり、学生と直接話せない分レポートのチェックやコメントに多くの時間を割いたり、学生一人ひとりに電話で連絡事項を伝えたり……実はオンライン授業の方が教員の負担はずっと

大きいのです。それでも学生のために労を厭わず、さまざまな工夫を凝らして対面授業と変わらないクオリティを維持してくれている教員のみなさんには頭が下がる思いです。コロナ禍の行方が見えない日々が続いているが、どんな状況でも決して授業を止めないために、全学一丸となって努力していきたいと考えています。

## ■母校への思いに支えられ、全学生に一律5万円を支給

オンライン授業をスムーズに実施するためには、教員だけでなく学生に対するサポートも欠かせません。本学が学生に事前アンケートを実施したところ、1年生の約7割がスマートフォンを日常使いしており、普段パソコンを使っていないことがわかりました。そこでパソコンや通信環境の整備を支援するため、大学・短大の全学生約4,000名に一律5万円の補助を決定。2億円以上の支出になりましたが、事業計画を見直したほか、大学後援会や大学同窓会、本学教職員からの寄付、合計約5,500万円のおかげで、対応することができました。他大学では教員の研究費や学生の実習費などを削って捻出したケースもあると聞きますが、母校に思いを寄せてくださるみなさまのおかげで本学の教育が支えられていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

## ■教員と学生にとってよりよい授業のあり方を追究し続ける

教員はもちろん学生にとってもオンライン授業は初めての経験です。90分間モニターに集中し続けることで心身が疲れやすくなったり、孤独感に苛まれることも少なくありません。

コロナ禍によって新しい生活様式が定着した2020年、北星学園大学も「新しい学びのかたち」を確立し、大学教育を維持するためのさまざまな取り組みを進めています。コロナが世界に影を落としても、学びのともしびを決して消さない。Shine like stars in a dark world 一世にあって星のように輝く— 本学のスローガンを、今こそ実現する時です。

レポートなどの課題に要する時間が通常の1.5倍かかっているというアンケート結果もあり、新しい学びのスタイルに戸惑っている様子が伺えます。その一方で、課題に時間がかかっている分だけ内容の質が向上しているという教員の声もあり、オンラインゆえに集中力が高まっている側面もあるようです。今後もアンケートや聞き取りなどを通じて情報収集と現状分析に努め、教員の負担軽減と学生の満足度向上を図っていきたいと考えています。

#### ■ アフターコロナを見据えて国際交流の絆をつなぐ

本学は道内私立大学における国際交流の先駆者として、留学生の派遣や受け入れを推進しています。しかし今年度および来年度前期の派遣留学はすべて中止。海外留学中だった学生も昨年3月までに渡航先から呼び戻し、海外からの受け入れ留学生も今年度の前期終了時点での全員帰国させました。ただ長年にわたり築き上げてきた国際交流の絆をここで断つわけにはいきません。そこで海外協定校の学生向けにオンラインによる日本語の授業を継続しています。物理的な渡航ができなくても、オンラインの世界に国境はありません。アフターコロナを見据えて、海外大学とのつながりを守り育てていくつもりです。



#### ■ コロナに屈せず学び続ける学生にエールを！

文部科学省の全国調査で、コロナ禍の影響で昨年10月末までに大学や大学院を退学・休学した学生が5,238人いることがわかりました。幸い本学では現在のところ退学や休学のケースはありません。経済的に困窮している学生には国の学生支援策を紹介しているほか、独自の授業料減免制度を創設し、修学継続を支援しています。

自宅待機が続く中で孤独感や不安を抱えている学生も多く、心のケアも欠かせません。本学では教員が学生一人ひとりに電話やメールでこまめにコミュニケーションを図ってくれているほか、学生相談室では対面相談(予約制)と電話相談に応じています。

外出や移動が制限されると気持ちも内に籠もりがちですが、見方を変えれば内なる自分と向き合うチャンスもあります。ひとりでもインターネットで情報収集できるし、コロナ禍を切り口として世界情勢や歴史、社会問題を考えるきっかけをつかむこともできる。新しい授業形式によって生まれた自由な時間を有効に使い、大学の授業だけでは知り得ない知識を蓄え、この時代だからできる学びに取り組んでほしいと思います。

## 北星学園大学の 新型コロナウイルス対策の 取り組み

### 学生への通信環境整備等支援

学生がスムーズに遠隔授業に取り組むことができるよう、インターネット環境等の整備のために学生一人当たり一律50,000円を給付しました。

### 遠隔授業をスムーズに行うための環境整備

遠隔授業を実施するために必要なシステムのIDを、専任教員はもとより全非常勤講師分を取得。サーバーも増強し、安定した通信環境を整備しています。



### 入構者の記録とウイルス感染 予防用簡易手洗い場の設置

C館入口で入構者の記録を行っているほか、C館内および学生会館内に手洗い場を常設しました。



### 校舎の除菌清掃

これまでの通常の校舎清掃業務に「除菌」清掃業務を追加し、業者に委託しています。

### 困難な状況に置かれている 学生の修学継続を支援

新型コロナウイルス感染症の影響によって家計が急変した学生を対象に、北星学園独自の授業料減免制度を創設しました。

# コロナ禍で変わったもの。変わっていくもの。

2020年、コロナ禍で世界はどう変わったのか？

アフターコロナの時代に向けて、ビジネスや暮らしはどう変わっていくのか？

本学の先生方に、それぞれの専門分野に基づく考え方を聞きました。



短期大学部 英文学科  
教授 森越 京子 先生

北星学園大学文学部英文学科卒業。アメリカ・オレゴン州立大学大学院教育学部教育学専攻修士課程修了。香港理工大学にて Doctor of Hotel and Tourism Management 取得。北星学園大学短期大学部英文学科准教授を経て2010年4月より現職。2020年4月より学科長を務める。  
専門分野：観光学、外国語教育

観光

## イノベーションとホスピタリティが観光の未来を拓く

### ■ 観光が止まれば多方面の産業に影響が及ぶ

観光は戦争やテロ、災害、金融危機などに影響されやすい産業です。これまでにもリーマンショックや東日本大震災などによって国内の観光関連産業に影響が及んだことはありました。今回のコロナ禍では国内のみならず、全世界の観光関連産業がストップしてしまいました。観光は旅行業だけではなく、運輸業や宿泊業、飲食業、食材を提供する第一次産業、土産品をはじめとするメーカーなど、さまざまな産業が複合的に関与しています。それだけに多方面に及ぶ影響は計り知れません。

### ■ 観光の現場で働く人々は今

短期大学部英文学科ではホテルや航空会社などのホスピタリティ産業を志望する学生が多く、授業の一環として観光関連産業で働くOGや専門家などをゲストスピーカーとしてお招きし、実際の仕事について話を聞く機会を設けています。ニセコエリアの観光振興に携わる専門家によれば、昨年までのインバウンド需要が激減した影響は深刻で、多くの人員削減を実施したホテルもあると聞きます。空港のグランドスタッフとして働くOGの場合、発着便は減ったものの、感染症対策に伴う消毒などの業務が増え、忙しさはさほど変わらないようです。「今後の見通しは立っていないけれど、いつかお客様が戻ってくると信じて、目の前の仕事に真剣に取り組むだけです」と笑顔で語っていた姿が印象的でした。

### ■ ピンチをチャンスに！奮闘する就活生

とはいえる新卒採用を縮小・停止した企業も多く、就職活動に励んでいた学生にとっては辛い1年でした。それでも一人ひとりが納得できる進路を模索し、四年制大学への編入や航空ビジネスに特化した専門教育機関で学ぶことを決めた学生もいます。中には客室乗務員の夢に一直線だったけれど、視野を広げて営業職として内定を得た学生もいて、「プレゼンテーションが得意なので自分らしく働けそうだ」と満足している様子でした。当初の志望と違っていても、自分の長所やスキルを活

かせる新たな道で未来を切り拓いてほしいと願っています。

### ■ コロナ禍で加速する新規ビジネスへの挑戦

企業も新たな活路を開くためにさまざまな努力をしています。旅行会社のエイチ・アイ・エス(HIS)は旅行事業に加えて農業やホテル・旅館再生、飲食店経営など、多角経営に乗り出しました。非接触型の観光関連サービスも進化していて、スマートフォンを活用したホテルのチェックインやキーレスシステム、タッチレス操作パネルを使ったフードオーダーシステム、世界の観光名所を体験できるVRシステムなどが続々と登場。コロナ禍だからこそイノベーションが加速することを実感しています。

### ■ セレブを満足させるホテルとホスピタリティに注目

道内でもアフターコロナのインバウンド需要を見据えた投資が活発化しています。昨年12月には日本初の「リッツ・カールトン・リザーブ」ブランドのハイクラスホテルがニセコにオープン。世界の富裕層に向けた観光誘致策として、今後もハイクラスホテルの進出が見込まれています。

そこで重要なのが、本物のセレブを満足させるハイレベルなホスピタリティ。

これからの観光業界では、卓越した語学力とコミュニケーション能力、歴史や芸術も含めた本物の教養を備えた人材が求められるだろうと思われます。



過去を振り返れば、大きな戦争や災害、感染症などがあっても、観光は必ず息を吹き返してきました。今は誰もが先の見えない不安を感じていますが、コロナ禍を乗り越えた先には観光の新しい未来が待っていると信じています。



経済学部 経営情報学科  
コウ ガ ブン  
准教授 黄 雅雯 先生

高雄第一科技大学応用日本語学科卒業。  
政治大学日本語学科修士課程修了。早稲田大学大学院 商学研究科博士課程単位取得。北星学園大学経済学部経営情報学科専任講師を経て2020年4月より現職。  
専門分野：経営戦略、国際マネジメント

## ビジネス

# 「変化する覚悟」と「人材力」が企業を救う

### ■ 変化しない企業は生き残れない時代へ

コロナ禍でさまざまなビジネスが停滞する中、前向きな変化を目指す企業はたくさんあります。日本の宅配サイト「出前館」は、海外資本の「Uber Eats」や「Wolt」へ対抗するために積極的に広告投資を行ったり、新聞販売店と提携して配達代行サービスを展開するなど、事業拡大に意欲的です。台湾茶チェーン「Gong Cha(ゴンチャ)」は今までライバルだったレストランと提携して自社商品を販売し、タピオカブームが下火になっても店舗を増やし続けています。コロナ禍という世界同時多発災害の渦中において、企業はもはや単独で生き残ることはできません。新しい生活様式のもとで私たちの暮らしは変わったし、企業側も変わらざるを得ないのです。

### ■ グローバルサプライチェーンのリスクマネジメントが必須

これまで多くの企業が低コストの海外生産拠点や材料調達ルートを構築し、ビジネスのグローバル化を推し進めてきました。しかしコロナという世界同時多発災害により、グローバルサプライチェーンの弱点があ



なり前から海外生産拠点の分散を進めており、コロナ禍で中国の生産体制がストップしても他の国で生産を継続。テレワーク需要に応えることで過去最高益を叩き出しました。当たり前のことですが、結局はリスクマネジメントをしっかり行っている企業が生き残るのですね。

### ■ アフターコロナを生き抜くビジネス戦略とは

ウィズコロナで生き残ったとしても、大切なのはアフターコロナでどう回復していくか。そのカギは「人」にあります。コロナ禍による事業不振で人員削減に踏み切る企業も多い中、「アフターコロナで生き残るために一人もリストラしない」と明言した星野リゾートには感心しました。とはいっても体力のある大企業はともかく、中小企業にとってはたやすいことではありません。従来の競争原理や業界の枠を超えて、新しい事業形態に挑む覚悟が必要だと思います。例えばアイリスオーヤマはもともと生活用品メーカーでしたが、大手家電メーカーをリストラされた技術者を大量採用し、ベーシックな家電製品を開発して急成長を遂げました。また、道内には六花亭やきのとやなど、地域に根付いた企業が数多くあると感じています。規模拡大より品質向上を重視し、地域のつながりを大切にする姿勢も、生き残りのカギになると思います。

### ■ 消費者意識と生活様式の変化に応えるビジネスに期待

グローバルビジネスにおいて、日本の消費者は質の高い製品に慣れているので要求が高く、最も攻略が難しいと言われていました。でもコロナ禍で経済的ダメージを受けた人が多い中、購買意識は「ハイスペックな高額商品」から「必要最低限の機能を備えたベーシックな商品」へと変わっていくかもしれません。また、新しい生活様式へのシフトにより、インターネットを介した売買サービス、キャッシュレス決済やAIなど非接触型ビジネスモデルを支援する技術の応用分野も拡大していくと考えられます。現在は大学の授業や研究グループの国際会議もオンラインで行っていますが、全く問題ありません。コロナ以前の世界に戻ることができない以上、オンラインのコミュニケーションツールはさらに加速していくことでしょう。もちろん対面でしか感じられない心の機微もあるので、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッドなコミュニケーションが形成されていくような気がします。

# Featured Faculty Member

## 先生たちの その素顔

社会福祉学部 福祉心理学科 教授 牧田 浩一 先生

### PROFILE

札幌市生まれ。1997年北星学園大学文学部社会福祉学科卒業。鳴門教育大学大学院修士課程修了。兵庫教育大学大学院博士課程単位取得。2006年に本学専任講師に着任。准教授を経て2018年より現職。



### ■被虐待児の心のケアを現場で実践

私は虐待を受けた子どもに関する臨床心理学を専門としており、大学で教鞭を執りながら、札幌市内の児童養護施設で生活している子どもたちに週1回の面接を行っています。児童虐待は育児放棄、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待の4つに大きく分類されます。虐待を受けた子どもは自己肯定感が低く、自分を価値あるものと感じられません。抑うつ状態や自己否定感、不眠、いじめや万引きなどの反社会的行動、食事を与えられなかった反動による過食など、さまざまな形で負の影響が現れます。

彼らは大人を恐れているため、自分の意思で行動や発言ができるようになるまで指示や命令をせず、面接を繰り返すことで信頼関係を築いていきます。心を開いてもらうまでには長い時間がかかる上、時には「お前なんかいなくなれ！」などと罵られることもあります。でも子どもが感情をぶつけてくるのは、それまで大人から味わわされてきた苦しみや苛立ちを「この人ならわかってくれる」と感じているから。その子が抱えている痛みを理解し、受け止めることは容易ではありませんが、それが信頼関係を築く第一歩なのです。

### ■「北星らしさ」を知る先輩として、学生に伝えたいこと

私の小・中・高校時代はいじめや非行、校内暴力、不登校などが目立ち始めており、子どもの心のケアが必要だと感じていました。心理学を学びたくて北星学園大学に入学し、自主自立の校風を肌で感じて「これこそ自分が求めていた学校生活だ！」とうれしくなったのを覚えています。学生時代は読書三昧の日々でした。読書は自分の心と向き合うきっかけを与えてくれたのです。周囲の学生も真面目に勉強に励む人が多く、これは今の学生にも通じる気質かもしれません。今年度はコロナ禍のためオンライン中心の授業になり、行動を制限されたことで不安や苛立ちを抱えていた学生も多かったようです。オンライン授業にはメリットもありますが、人とふれあい、息遣いを感じられる対面授業の意義を改めて実感しました。

学生には専攻の学びだけにとどまらず、自分が知らない世界をどんどん経験して広い視野を身につけてほしいと思います。外国人の教員が多く国際交流が盛んな本学には、世界とつながるチャンスや自分を成長させる資源がたくさんあります。先が見えない時代だからこそ、既成の枠に収まりきらない自らの可能性を貪欲に探求してほしいと願っています。



ロンドンの主要な駅のうち、最も好きなセント・パンクラス駅。重厚な美しいデザインに見惚れます。



コロナ禍のステイホーム中、薪割りに初挑戦。じっくり乾燥させて来冬の薪ストーブデビューを目指します！



本学WEBサイトコンテンツ「研究者ストーリー」で牧田先生のインタビュー動画も閲覧できます。

<https://entry.hokusei.ac.jp/scholar/makita>



今こそ!

## 北星に行こう!!!

「フェアトレード」という言葉を知っていますか？フェアトレードとは開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す取引の仕組みです。北星学園大学は、大学全体でフェアトレードの推進に取り組む「フェアトレード大学」です。今回は、フェアトレードを研究している萱野智篤教授にインタビューを行いました！



## フェアトレードとは…?

## 北星学園大学は国内2校目の「フェアトレード大学」です!!

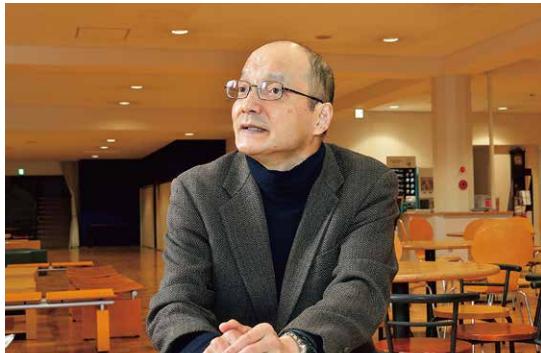


フェアトレード認証マーク



●フェアトレード大学とは、大学全体でフェアトレードを推進する活動に取り組んでいる大学を認証するもので、一般社団法人日本フェアトレード・フォーラムが認証機関として審査・認定を行っています。北星学園大学・北星学園大学短期大学部は2019年10年、札幌学院大学と同時に国内第2号、道内第1号として認定されました。

●フェアトレード大学として活動することは、グローバル化が進む社会の中で厳しい条件下に置かれた人々と人間らしい暮らしを分かち合い、持続可能な社会の実現に向けて大学全体が一丸となって取り組むことに他なりません。北星学園大学では、普及学生団体「北星フェアトレード」を中心に、これからもフェアトレード推進活動を実践していきます。



経済学部 経済学科  
かや の ども あつ  
萱野 智篤 先生

## 北星にあるフェアトレード商品



## フェアトレードQ&amp;A

Q: 先生は普段どんな活動をしていますか？

A: ゼミや講義などでフェアトレードについて学生に教えています。授業の一環としてフェアトレード商品取扱店舗に関する調査を行っているほか、フェアトレード大学として現地の生産者とコンタクトを取り、コミュニケーションを継続しています。

Q: 新型コロナウイルスの影響はありましたか？

A: 新型コロナウイルスの世界的流行によって国際輸送が制限されたり、国内のフェアトレードショップが営業自粛を余儀なくされるなど、生産側と販売側の双方が金銭的に厳しい状況に追い込まれています。その一方、オンライン化が進むことによって、产地とのコミュニケーションが取りやすくなるというポジティブな変化も見られます。

Q: フェアトレードの今後についてどうお考えですか？

A: フェアトレード商品を扱っているお店が増え、それを購入してくれる人が増えることで貧困に苦しむ開発途上国の生産者の生活改善に繋がることを願い、今後もたくさんの人に広めていきたいです。

大学生協では、フェアトレードの商品を多数販売しています！すべて生産者が一つ一つ心を込めて作った商品です。近くに来た際には、是非、お立ち寄りください!!

## TOPICS

### コロナに負けるな! オンライン国際交流の輪

新型コロナウイルスの感染拡大は、本学の国際交流事業にも大きな影響を及ぼしました。2019年秋期派遣留学生は途中帰国を余儀なくされ、2020年度の留学・海外渡航プログラムは全て中止になりました。

キャンパスから留学生の姿が消え、派遣留学生からの海外レポートも途絶えたことは寂しい限り。しかし、このような状況でも国際交流の絆は途切れることなく続いている。

#### アジア5カ国の学生がコロナ禍の「いま」を語り合う

北星学園大学では毎年東アジア圏の協定校から学生を招聘し、互いの文化を学び合う交流プログラム「EASCOM(イースコム: East Asia Student Communication program)」を実施しています。コロナ禍に見舞われた今年度は、オンラインアプリ「Zoom」を使った遠隔プログラムの開催が決定。昨年11月9日から11月28日まで、EASCOM協定校の大連外国语大学(中国)、カトリック大学校(韓国)、東海大学(台湾)、マラナタ・クリスチャン大学(インドネシア)の学生たちと本学学生が共同作業を行いました。「コロナ禍でどう変わった?」をテーマにプレゼンテーションを行ったほか、5カ国語の会話帳を編集するワークショップを実施しました。

#### 海外協定校の学生のために日本語授業を無料で開講

北星学園大学国際教育センターでは昨年10月19日~12月18日の2ヶ月間、本学学生交換協定校の学生を対象としたオンライン日本語プログラムを無料で開講しました。単位が付与されないプログラムにも関わらず、ヨーロッパ・アメリカ・アジアから約70名が参加。日本語習熟度に応じた少人数クラスに分かれ、各国の時差に対応した授業を選択して受講しました。

#### 日本とイギリスの学生がZoomで大集合!



国際ラウンジ学生チームHUIT(ヒュイット:Hokusei Gakuen University International Team)は、日本人学生と留学生の相互交流を図るさまざまなイベントを企画・運営しています。昨年11月8日、HUITのメンバーと本学協定校であるセントラル・ランカシャー大学(イギリス)の

日本サークルに所属する学生が、オンライン語学交流会を開催しました。両校の学生が協力して運営にあたり、34名の学生が参加。アイスブレイクゲームから始まり、3~4人のブレイクアウトルームで会話を楽しみました。モニター上で記念撮影をしてイベントは終了しましたが、「もっと話したい!」という人のためにZoomを1時間延長し、大いに盛り上りました。

## 北星学園大学オリジナルグッズが当たる!

### まちがいさがしきquiz

[今号のまちがいさがしスポット]

CALL (Computer Assisted Language Learning) 教室

コンピュータ支援による語学学習教室です。最新システムを導入し、効率的・効果的な授業を展開しています。授業がない時は、自習教材(英検準2級~1級、TOEFL®、TOEIC®、英会話教材など)を利用でき、英語力の向上を図ることができます。



#### ★応募要項

下記応募フォームまたはハガキにて以下の内容をご記入の上、下記送付先までご応募ください。

①問題の答え(まちがい5個) ②郵便番号 ③住所 ④氏名

⑤電話番号 ⑥HOKUSEI@COMのご意見・感想

送付先:〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学 HOKUSEI@COM「まちがいさがし」係



■応募締切日: 2021年3月6日(土)必着

■応募フォーム: [https://www.hokusei.ac.jp/hokuseicom\\_quiz/](https://www.hokusei.ac.jp/hokuseicom_quiz/)

#### ★正解発表

『HOKUSEI@COM』31号  
(2021年8月発行予定)に  
掲載いたします。

前号の  
正解

※ご応募は1号につき、おひとり様1回までとさせていただきます。  
※正解者の中から厳選なる抽選の上、当選者を決定いたします。  
当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。  
※お送りいただいた情報は賞品の発送のみを目的に使用させていただきます。  
※ご住所・転居先の不明等で賞品をお届けすることができない場合は、当選を無効といたします。



Hokusei Gakuen University  
**北星学園大学**  
北星学園大学短期大学部

発行／広報委員会  
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号  
TEL 011-891-2731(代表)  
URL <https://www.hokusei.ac.jp>  
E-mail koho@hokusei.ac.jp



本誌制作に伴う取材・撮影は、新型コロナウイルス感染予防策をとった上で実施しています。

